

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ヨシア				公表日	令和8年3月25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		十分なスペースを確保しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		配置基準以上に職員やパートさんを配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもたちにわかりやすく活動別に空間を分けたり、マークなどで見てわかるように工夫しています。 ドアには、指を挟み防止をつけています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日お掃除をしています。子どもたちと活動でぞうきんがけを行うこともあります。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		活動別に、空間を分けて活動しています。また、個別対応もしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		人事考課やグループスーパービジョン、個別スーパービジョン等を行い、目標設定、振り返りをしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		頂いたご意見は、クラス内で共有し、改善につなげていけるように努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		クラス会議やグループスーパービジョンで一人一人の声を聴き、改善につなげています。また法人で業務改善委員会が設置されているので、委員会で職員の意見等を把握し、改善につなげています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価は実施していません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内の研修制度が整っており、学びの機会が多くあります。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、ホームページに公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		半年に一度、保護者の方と面談を行い、アセスメントを行って、強みやニーズを整理して個別支援計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		クラスの職員で会議をし、共通理解を持った上で、児童発達支援計画を作成しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		作成した児童発達支援計画は、クラス会議やグループスーパービジョンで共有しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		発達検査の結果を保護者の方から共有していただいたり、日常の様子を職員で情報共有しながら支援をしています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		法人で児童発達支援計画の雛形が統一されており、すべての項目は設定されています。その中で、優先順を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		リーダーを中心に、クラス会議やグループスーパービジョンなどの中で、クラスで活動のプログラムを決めています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		職員で意見を出しあったり、他事業所と合同の活動をしたりと工夫しています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と集団活動の両方を大切に、取り入れています。		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝、体制を確認し、活動に合わせて子どものパディを決めたり、役割を決めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援後は、振り返りを行い、次の活動や支援に繋がられるようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日、子どもたちの様子や変化、よかったところなどを記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度、モニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		関係機関との会議には、児童発達支援管理責任者やよく理解している職員が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて、関係機関と連携し、子どもやその家族の支援をチームで行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		並行通園先の幼稚園、保育園とは、見学や電話等での相談対応、保護者を含めた3者での面談などを行い、子どもたちの理解を深めていきました。	すべての並行通園先との連携が出来るように、こちらからも働きかけていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学前には、学校との引継ぎを行います。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		法人内に児童発達支援センターがあるため、連携しています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		法人内の保育園と、園庭や行事で交流する場があります。	他の保育園や幼稚園との交流が出来るように関係を深められるように努めています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		定期的に事業所内面談や電話等で保護者への相談対応や情報共有しています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		グループカウンセリングやグループスタディなどがある日は、保護者に連絡をし、参加を促しています。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		入園時に、必ず説明をしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者と面談を行い、ニーズを確認し、児童発達支援計画に反映しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		同意を頂くときに、必ず口頭で書面を見ながら支援内容の説明をしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に事業所内相談を行い、日ごろの子育てについてや困っていることなどを聞く機会を設けています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		父母会の活動で、忘年会や、卒園感謝会などを行い、保護者や同士や先生との交流する機会があります。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		子どもや保護者から相談があったときには、すぐに対応できるように努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページやがくぶりで配信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き書庫を使用し、個人情報の取り扱いには十分に気を付けています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		絵カードを使用したり、実際の写真を使って説明するなど、わかりやすく伝えられるように工夫しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域の方に出会ったときは挨拶をしたり、行事のときにはお誘いしています。また、見学の方も多く見られるので、挨拶を大切にしています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		法人内でそれぞれのマニュアルを策定して、お知らせをしています。職員は不審者対応や嘔吐物処理等の練習も行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月子どもたちを含めて避難訓練を行っています。また、職員も、必要な訓練などを学ぶ機会を設けています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		服薬のあるお子さんは、法人内でも把握し、看護師とも連携しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師の意見書をもらい、アレルギー対応を行っています。エビエンの保管や薬の管理は、法人内でも把握し、看護師とも連携しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		法人内に安全委員会を設置しており、安全計画を作成しています。安全に過ごせるように環境設定するなど、職員で情報共有・連携をしています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		保護者の方にも安全計画をお知らせするなど、一緒に安全を守れるよう周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットがあったときには職員で原因と再発防止策を検討し、法人内で共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人内に虐待防止委員会を設置しています。年2回の職員研修や週1回、アンガーマネジメントの練習を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		個別支援計画に記載し、保護者の同意を得ています。		